

# 関東直下地震に備えるセミナー

**日時：9月2日（日）午後2時より**

**場所：久遠キリスト教会（2F）**

**（入場無料）**

**御近所、お誘い合わせでご参加下さい。**

**講師：栗原一芳氏**

**災害支援団体クラッシュ・ジャパン**

**次期東京災害対策担当**



クラッシュの名前は、Christian(クリスチャン)、Relief(救援)、Assistance(協力)、Support(支援)、Hope(希望)の頭文字から来ています。クラッシュジャパンは、東京に本部を置く非営利クリスチャン災害援助団体です。2011年、8月より一般社団法人となっています。

災害が起こる前、災害に効果的に対処できるよう教会や団体を訓練し、整えます。

災害が起こった時、被災地にある教会、地元のミニストリーと共に働くクリスチャンボランティアを派遣します。

## クラッシュジャパンの使命

- クラッシュジャパンの目的は、その地に遣わされている地域教会を通して、必要な人々に助けと希望を分かち合うことです。

災害時の基本は、1. 自助 -自らの命は自らが守る。2. 共助 -隣近所で助け合う。

3. 公助 -行政機関による救出救助

公共の助けはすぐには来ないと思ってください。3日間は自力で生き延びることを考えなければなりません。阪神淡路大震災の経験からは、近所の人に助けて頂いたが7割、自力で脱出が2割、公共の助けで助けられたのは1割にすぎません。 始めの24時間では、制服組はあまり役に立たないと考えておいた方が良いでしょう。そして、いかにお隣さんとの助け合いが重要かがわかってきます。阪神淡路の体験者が言っています。「助かった人が助けるのだ」と。ですから先ず、あなたが何として助かってください。他の人を助けるためです。